

MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2008/06/11	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中林	Ver.	Issue3.0
-------------------------	--	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

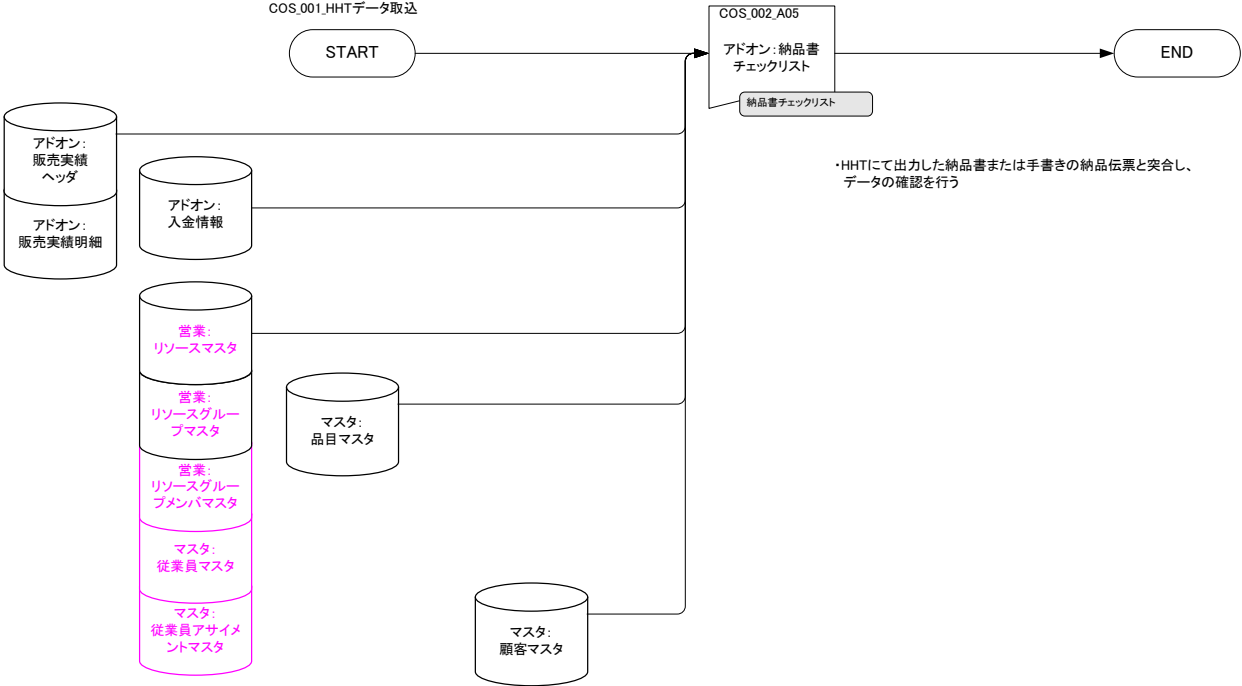
処理概要
HHT納品データから作成された販売実績データの確認を行うために、納品書チェックリストを出力する
HHT納品データは、EBSへ連携されると当日中に販売実績データの作成まで行われるため、データの確認は翌日となる

システム利用者
拠点_内務担当者

処理タイミング、その他
販売実績データが作成された翌日、必要に応じて実行する

システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

